

# 松樹会ニュース

編集・発行 医療法人 松尾クリニック ・ 松樹会 Vol. 41

松尾クリニック

院長 松尾 美由起

## 「雪の中で思う」

近畿地方までも大雪となり周りが真つ白のなか、冬季オリンピック真つ最中です。

ソチのオリンピックが近づく、「何か緊張するー」といつていた私・・・特にフィギュアスケートファンとしては浅田真央選手、高橋大輔選手、鈴木明子選手達の集大成ということもあり、どうか無事にすてきな演技をし



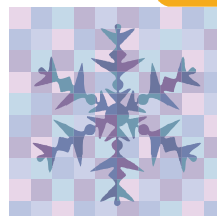
て欲しいとの祈りの様な気持ちなので。フィギュア選手達の演技を

みていると、こけてもこけても音楽に遅れまいと必死でたち上がり、人間業とも思えなような「より高い目標」を目指して果敢に挑戦し、決して諦めない・・・そんな姿に感動しどれだけ励まされてきたことでしょうか。

医療の現場でも同じように感じる事が多々あります。

そんな中で私たちが一番大切にしたいことは看護の心であり、「自分だったら、自分の家族だったらどうしてほしいか」を考えること。

原点にもどってより良い医療を提供し、最新の情報を得



るためにたゆなき努力をすることです。

今年になって若い女性科学者からのSTAP細胞の発表もあり、古い考え方や常識だと思いついて固執してはいけないと思うと共に、医療も本当に再生の時代に突入してきたんだと思わざるを得ないこの頃です。

人間の限界に挑戦する選手達にメダルだけにとらわれず是非ともこのびのびと自分のスケートをしていただきたいと切に願わずにはおられません。

松尾クリニック

理事長 松尾 汎

「参加することに意義が・・・」

今年2月にソチで、冬季オリンピックがありました。世界中から多くの人が参加し、史上最多の参加国・地域であったとのことです。多くのメダリストが誕生し、その傍らには歓喜の嬉し涙が溢れているコーチや応援団の人々がいた一方で、悔し涙にぬれている選手やそのスタッフ達もいました。スポーツには勝ち負けがあり、優劣がつきまといまいます。世界中のアスリートが、天賦の才能に努力を積み重ねた結果の成果といっ

なかつた者もいたでしょう。

母国からの多くの期待と歓声を背に受けて、なんと過大な荷を背負わされていたことでしょうか！期待に押しつぶされてしまった選手もいたに違いないありません。実力通りの力が発揮すれば難なくできたことが、その晴れの舞台では気持ちや体が何時になく萎縮したり、緊張して固まったり、過度に動かしてしまったりして、練習では無かったような小さなミスが飛び出したり、とんでもない記録に終わってしまった方も多かったと思います。オリンピックに限らず、私たちは人生の種々なステージで、それに似た経験を強い

れることがあります。たとえば

運動会や学期試験、クラブの演奏会などでもそれなりに期待され、緊張します。さらに「入学試験」や「資格試験」となると、その緊張の度合いは、半端では済まないでしょう。もちろん、そこでも私たちは実力を発揮しなければなりません。実力が及ばなければ、更に磨きをかけなければなりません。しかし、運悪く風邪を引いてしまったり、体調が不良となることもありま

ピックでもその成果を挙げられ

なければ、「敗者」との烙印を押されてしまうのでしょうか？勿論、入賞できなかったり、試験に受からなければ、メダルも戴けませんし、入学することもできません。でも、それが「敗者」ということにつながるわけでは決してありません。多くの先人がそうであったように、ほとんどの方が何らかの「挫折」を経験していると思います。「何も苦労はしておりません」と言える方は、決しておられないのではないのでしょうか？皆全員が、どこかで、壁に突き当たったり、悩んだり、失敗したりした経験を持っておられると思います。それを克服したり、突破したり、やり過ぎたりす

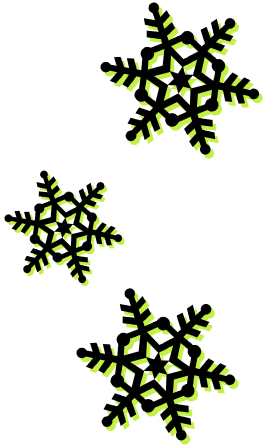
る中で、多くの教訓が得られ、成長してきたのではないかと思えます。楽しいこと嬉しいことばかりではなかったと思います。が、失敗や辛いことを通して、初めて見えてきたこともきっとあったと思います。だからこそ輝ける時も・・・。

なのに、オリンピックでの争いは別にして、何故、人類は争いや戦争を止められないのでしょうか？有史以来、200年以上が過ぎたのに、人類は何を学んで来たのでしょうか？「ヒト」同士で争うことよりも、「ヒト」に寄り添うことのできる「人」であって欲しいと思います。ヒトに優しい貴方であって欲しいと思います。今の世の中で、「人生」という舞台に参加しているのは

「私達」です。その中で自分の得意種目（仕事や趣味など）における生き甲斐・やり甲斐、かけがえの無いヒトなど）を見つけ下さい。そこで「自分らしさ」を發揮して下さい。そうして共に支え合って活きられる世の中で、共にそれぞれの人生で、その役割を担いつつ育（はぐく）んで、輝いて戴きたいと思えます。

そのためには、是非、あなた方の力で、お互いを助け合っ下さい。

「人生」という舞台も、参加することにこそ意義が・・・



行事報告



「第22回みんなの作品展」

平成25年10月3日（木）

プリズムホール 展示室

★お話し 松尾美由起院長

「しわについてのお話し」

シワは紫外線による影響が75%を占めます。特にシワに影響が大きいのは表皮を通り抜け、皮膚の奥まで届くUVAという紫外線です。UVAは肌の張りに大事なコラーゲンを減少させてしまう為、日焼け止めを使用する場合はPA++と表示のあるものをお勧めです。

また毎日のお手入れとして、

①化粧水は500円玉くらいの量で二度塗りしない。

②美容液は真珠大の量で薬指で少しだけ

③日焼け止めは500円玉の量を外出15分前に

すりこまない、塗り込まない、軽く乗せることを意識して皆さんも是非やってみてください。







今年も素晴らしい作品がたくさん集まりました。後日クリニックにて行われました一日手芸教室では苺の巾着袋を作りました。昨年同様、とても大盛況でした。

平成 25 年 12 月 7 日 (土)  
 クリニック 2 階 待合室  
 ルシア塩満さんによるコンサートが当クリニックの 2 階にて行われました。ルシア塩満さんは小学校 2 年生から中学 3 年生までを南米パラグアイで過ごし

「ルシア塩満さんによる

アルパコンサート」



その時アルパに出会ったそうです。皆さんもよくご存知の「コーヒールンバ」や「いつわりの愛」、松尾美由起院長と一緒に「風に揺れるポプラ」などを演

寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。風邪などひかないようお気をつけ下さい。

**編集後記**

- 1、松尾美由起院長による講演
- 2、菅まなみさんと健康オタクバンドの皆さんによる歌

レセプションホール

プリズムホール

14時半～16時半

平成 26 年 5 月 10 日 (土)

「春のつどい」

**行事予定**



奏して頂きました。キラキラとした優しく暖かい音色、また力強くダイナミックな演奏に皆さん聞き入っておられました。